

平成26年1月15日

お知らせ

件名	平成25年度「手づくり郷土賞」が選定されました ～北海道内から1件受賞しました！～
----	--

お知らせ内容

今般、「手づくり郷土賞」選定委員会が開催され、全国各地から応募のあった46件の内、20件〔一般部門：17件、大賞部門：3件〕の優れた取組が選定されました。北海道内からは「一般部門」で下記の1件が選定されたことをお知らせいたします。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰で、今年度で28回目の表彰になります。

今年度も、地域の魅力を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」と、これまでに受賞したもののうち一層の発展のあったものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門により実施しています。

記

■旭川市

案件名：美瑛川さと川づくり ―未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」を作ろう―
受賞団体名：特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽

【資料】

- 資料－1 選定結果一覧
- 資料－2 受賞案件概要
- 資料－3 制度の概要

―参考― 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページ
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>)

※認定証伝達式を3月6日（木）に旭川地方合同庁舎にて執り行う予定です。
伝達式の詳細については別途お知らせいたします。

	所 属	役 職 名	氏 名	代 表 電 話
問合せ先	北海道開発局開発監理部	開発調査官	館石 和秋	011-709-2311 (内線 5474)
	北海道開発局開発監理部 開発調整課	開発専門職	二木 俊丞	011-709-2311 (内線 5473)

平成25年度「手づくり郷土賞」選定結果

資料-1

■手づくり郷土賞(一般部門):17件

ブロック	所在地	案件名	団体名
北海道	北海道 旭川市	美瑛川さと川づくりー未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」を作ろうー	特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽
東北	山形県 鶴岡市	商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり ～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい	鶴岡山王商店街振興組合
関東	栃木県 日光市	「足尾の山に100万本の木を植えよう！」官民連携による緑化活動	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会
	埼玉県 幸手市	遺そう我々の郷土を！伝えよう100年後の子ども達へ！	特定非営利活動法人 幸手権現堂桜堤保存会 幸手市
北陸	新潟県 長岡市	「越後みしま 竹あかり街道」	三島ライトアップ実行委員会
中部	長野県 駒ヶ根市	天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」	特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議
	三重県 伊勢市	舟参宮の再興 いにしへの川みなとに賑わいをつくる	特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ 伊勢市
近畿	和歌山県 和歌山市	「水軒堤防の再生」と「市民の公園の実現」	水軒の浜に松を植える会
	奈良県 五條市	四百年の歴史に磨かれた町なみ	特定非営利活動法人 大和社中 奈良県五條市
	奈良県 大和郡山市	古道「七曲道」の整備	やまと郡山環境を良くする市民の会
中国	島根県 出雲市	甍った出雲大社の門前町ー神門通りー	神門通り甍りの会 島根県
	島根県 江津市	石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり	本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会 江津市
四国	愛媛県 松山市	復活松原泉～住民の熱い思いで松原泉・小川を再生～	松原泉を管理する会
九州	大分県 中津市	耶馬溪の自然と景観を守る	NPO法人 耶馬溪の自然と景観を守る会
	鹿児島県 さつま町	大水害からの復興(地域の願いを込めて)	虎居区公民館
	鹿児島県 さつま町	光に満ちたまちづくり(ホテルとともに)	奥薩摩のホテルを守る会
沖縄	沖縄県 中城村	古道ハンタ道(歴史の道)と世界遺産。郷土を愛し地域をおこすサークル活動	中城村文化財案内人サークル「グスクの会」 中城村

■手づくり郷土賞(大賞部門):3件

ブロック	所在地 都道府県	案件名	応募団体名
北陸	新潟県 村上市	黒塚プロジェクト (黒塚一枚1000円運動と緑一口1000円運動による市民パワーのまちづくり)	チーム黒塚プロジェクト
四国	徳島県 徳島市	かわ普請 ～ひょうたん島・青石護岸再生作戦～	特定非営利活動法人 新町川を守る会 徳島県
九州	宮崎県 日南市	賑わいを今に ～飢肥城下町の取り組み～	一般財団法人 飢肥城下町保存会 日南市

美瑛川さと川づくり —未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」を作ろう— (北海道・旭川市)

地域の若手農業者が平成5年から行っているまちづくり活動の中で、阪神大震災の被災児童23名の疎開を受入れたところ、都会から来た子供達が見違えるように元気になって帰郷したことから自然や田舎の偉大さに気付きました。

その後、地域と関わりの深い美瑛川・辺別川の川づくりを住民主体で行うため、NPO法人グラウンドワーク西神楽を設立、美瑛川さと川づくり事業を発足し、ビオトープやフットパス整備、環境学習、シンポジウム等を実施し今年で16年目となります。

また、「まちづくりボランティアの目的は地域の課題を解決するため」と考え、課題を整理、受け皿となる専門委員会を組織し、河川を中心とした歴史の継承や自主防災組織の立上げ、高齢者福祉等を意欲的に実践しており、10名程度で始めた活動は現在100名を超え着実に地域に根ざしています。

これまでの活動や、年間来場者が4万人を超す手づくりパークゴルフ場の整備等により美瑛川・辺別川は地域住民の交流の場となっています。



手づくりの自然散策路を活用して、地域住民による環境学習などを実施しています。



冬期間は「かんじき」を履いて雪上で小動物の足跡調査などを行っています。



地元小中学校4校と河川環境を活用した自然観察会を年間約8回実施しており、今年で16年目を迎えます。



手づくりの郷土資料館は子供たちも見学を訪れ、ふるさとの歴史を学ぶ場となっています。



阪神淡路大震災や、東日本大震災の被災児童がホームステイして大自然を満喫しました。



草木の繁茂する河川敷に5年もの歳月をかけてパークゴルフ場を完成させました。利用者は年間4万人を超え、地域交流や憩いの場となっています。

●活動主体

NPO法人グラウンドワーク西神楽
北海道旭川市西神楽南2条2丁目666
TEL:0166-75-5305
<http://www.gwnkagura.org/>



平成25年度 手づくり郷土賞

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)
- ⑦社会資本の地域への定着状況
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)
- ⑧活動の継続状況
(規模を広げながら着実に継続している等)
- ⑨活動の発展状況
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

委員長： 西村 幸夫	東京大学先端科学技術研究センター 所長・教授
荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー
齋藤 潮	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
佐々木 葉	早稲田大学創造理工学部 教授
田中 里沙	株式会社宣伝会議 取締役 編集室長
田村 美幸	公共の色彩を考える会 名誉会長
森反 章夫	東京経済大学現代法学部 教授/災害復興研究所 所長
西脇 隆俊	国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/index.html>)